



～南九州市建設同友会が寄付～

市発展のために活用を



6月17日、市役所で寄付の贈呈式が行われ、南九州市建設同友会より南九州市へ100万円の寄付をいただきました。同会会長の桑畑昭三氏は、「南九州市発展のために活用して欲しい」と述べられました。同会は、市内16の建設業者で構成されており、災害の未然防止や危険箇所の把握などを目的とした、市内のパトロールを毎年行うなど、市民の安全を守り、安心して住みやすいまちづくりのために市と連携した活動を行っています。

～中間幸敏さん(川辺地域)～

県共生・協働の農村づくり運動功労者表彰



5月30日、アートホテル鹿児島で共生・協働の農村づくり運動の表彰式があり、中間幸敏さんが最高賞の知事賞を受賞されました。中間さんは、農村づくりのリーダーとして地区の話し合い活動や合意形成に中心的立場として携わり、地区内の農村づくり運動の実践活動推進に大きく寄与されました。また、集落ぐるみで地域農業を支えるためのシステムを作り上げ、今回その功績が認められたものです。

にいなめさい
～新嘗祭献穀祈願祭～

献穀する米と粟の豊作を願って！



令和4年度新嘗祭に献穀する米と粟の祈願祭が、6月5日に知覧町永里で、6月11日に知覧町西元で行われました。米を生産する松村孝徳さんは、「就農して50年の節目に献穀者となり非常に光栄です。地域の方々に良い報告ができるように丹精込めて作ります」と話しました。また、粟を生産する柚木弘文さんは、「初めて粟を生産するので、皆さまにご協力をいただきながら、11月の新嘗祭に向けて当地から立派な粟を献穀したい」と意気込みを述べました。
※新嘗祭とは、収穫を祝い、翌年の豊穣を祈願する儀式のこと。

～“社会を明るくする運動”メッセージ伝達～

立ち直りを支える地域のチカラ



7月は“社会を明るくする運動”の強調月間です。7月1日、南九州市保護司会代表者から市長へ、内閣総理大臣と県知事のメッセージが伝達されました。南九州市保護司会は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築くため、犯罪予防の啓発運動として“社会を明るくする運動”などに取り組んでいます。



～第15回南九州市乗用型茶摘採競技大会～

茶生産者が摘採の操作・技術を競う



6月30日、知覧町塩屋の汐見原集団茶園で、乗用型茶摘採競技大会が、4年ぶりに開催されました。この大会は、生産者や担い手の安全で的確な運転操作技術の向上と躍動する本市茶業のPRを目的に開催されており、今年は10組が参加して行われました。最優秀技術賞に(農)汐見原茶生産組合、優秀技術賞に(株)中道が選ばれました。

～ヒラメ稚魚放流～

市内小学生が水産体験学習



6月10日、頴娃町石垣港にて、水産体験学習が開催され、市内2つの小学校（松山小学校、別府小学校）の児童28人が参加しました。

鹿児島水産高校海洋科栽培工学コースの3年生13人が先生となり、水産高校で育てたヒラメの稚魚の放流や鹿児島の水産業についての学習などを行いました。普段なかなかできない体験ということもあり、子どもたちは、とても楽しそうに学んでいました。

～農事組合法人たべた～

田んぼアートで地域おこし



6月25日、川辺町田部田にて田んぼアートの田植えが行われました。今年は雨の中、地元の方をはじめ、JA職員、市役所職員、ボランティアの約60人が参加し下絵の作成や田植えを行いました。

田んぼをキャンバスに見立て、色の異なる稲を使ってさまざまな絵を描く田んぼアート。今年はどんな絵になるか楽しみです。

例年7月中旬～9月中旬が見ごろとなり、やぐらの上から田んぼアートを見ることができます。

～消費生活出前講座～

消費者トラブルに気を付けて!



5月27日、西塩屋公民館で消費生活出前講座が開催されました。

消費生活相談員が最近の消費者トラブルについて事例と対策を紹介し、参加者は熱心に話を聞いていました。

消費生活センターでは、講座を受けたい自治会や団体に出張いたしますので、希望される方はお気軽にお問い合わせください。(連絡先：消費生活センター(商工観光課内))